

評価及び取組報告書

令和8年2月10日

学校法人 平岡学園 平岡幼稚園

園長 堀田 佳之介

次のとおりわかば環境 ISO の取組結果を報告します。
評価結果を踏まえ、継続的な取組に努めます。

1 取組の紹介

共通メニュー		
省資源	省エネ	ごみの減量化
<ul style="list-style-type: none"> ・水を大切に使う。出し過ぎに注意する。 ・戸外でのあそびに使用する水は、井戸水を使用する。 ・廃材あそび（ゴミの減量化とも結びつくようにする）。 	<ul style="list-style-type: none"> ・使用していない照明や空調を消す。 ・エネルギーの効率化を図る為、熱遮蔽に努める。 ・ゴミ処理場で発電される廃棄物発電を利用している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴミの分別（燃せる・プラ・紙） ・エコキャップ活動・使用済み切手集めをする。 ・食事の際のゴミを少なくする(できるだけ残さない・落とさないなど)

独自メニュー

地域の生物多様性の保全活動

我が園のビオトープ（野生生物の生息空間）には、人の手で生きもの（ホタルやメダカ、水草など）を持ち込んでいません。ビオトープで見られる生き物はすべて、周囲から自力で移動してきた生き物です。

我が園の所在する岡崎地区は、土地開発（宅地化等）が進み、決して豊かな自然があるとは言い難いのですが、それにもかかわらず、園地をビオトープ化して以降、600種を超える生き物が集まっています。その中には、神奈川県レッドデータ生物調査報告書 2006 に掲載されている生物 32 種（[絶滅危惧Ⅰ類：マエアカヒトリ]、[絶滅危惧Ⅱ類：コオイムシ]、[絶滅危惧Ⅲ類：オオタカ・ヒラタクワガタ・ルリカミキリ・オオミノガ・オツネトンボ]、[準絶滅危惧：コシボソヤンマ・カトリヤンマ・ミヤマアカネ・コガムシ・ウバタマムシ・ヒバカリ]、[要注意種：12種 ハグロトンボ・ホソミオツネトンボ・タカネトンボ・シオヤトンボ・リスアカネ・マユタテアカネ・ナツアカネ・タマムシ・ケラ・シマヘビ・アオダイショウ・ヒガシニホントカゲ]、[減少種：5種 アカハラ・カワラ



平岡幼稚園のビオトープの1つ「平岡の森」

独自メニュー（つづき）

ヒワ・キセキレイ・モズ・ツバメ]（注目種：1種 アオバト）（情報不足：1種 ホソミイトトンボ）が含まれるなど、地域の生物多様性の保全にも大きく貢献しています。

自然体験を通して豊かな心身を育む活動



園内の自然とふれあって遊ぶ園児

我が園では、ピオトープの取組など、多様な自然とのふれあい活動を通して、心身の豊かさや、“生きる力（豊かな感性、健やかな身体、学力の礎）”を培う教育を行っています。

幼少期に「自然」の楽しさ、面白さ、不思議さ、大切さなど、自然の持つ多様な魅力を感じるような体験をたくさんできるように日々工夫をしながら保育をしています。手作りのツリーハウスもその工夫のひとつです。樹齢50年以上のイトヒバを囲うように作られたこのツリーハウスには、自然と繋がりのある遊びが様々に展開できるように、お店カウンターなども完備されています。子どもたちが自由な発想で自然を楽しむことができる人気スポットです。

湘南自然誌の出版活動

湘南自然誌は、平岡幼稚園が出版する“地域の自然情報誌”です。発行は年4回（季刊）、発行部数は700部です。今年度はこれまでに37～39号を出版（40号は2025年3月出版予定）。本誌は、地域の自然に造詣の深い学識者による特集や、読者からの投稿写真により地域の生物情報を蓄積する「みんなで作る生きもの図鑑」、自然にまつわる教育コラムなど、地域のさまざまな自然情報を掲載しています。生きもの図鑑コーナーでは、今年度は、2026年2月現在30種が追加され、創刊号からの通算種数は956種となっています。

本誌は、2020年にISSN（国際標準逐次刊行物番号）を取得し、国立国会図書館、神奈川県立図書館、平塚市図書館（中央図書館・南図書館）、神奈川県立生命の星・地球博物館ライブラリーなど、県内外49の公共施設に郷土資料・一般雑誌として、収蔵（配架）されています。今年度より新たに奈良県の橿原市昆虫館に収蔵されることになりました。



平岡幼稚園が出版する
「湘南自然誌」
（写真はVol.39の表紙）

園児親子向け「自然観察会」等の実施

休園日を利用し、平岡幼稚園の園児家族を対象とした自然観察会等を行いました。地域の自然環境の魅力を肌で感じてもらえるように、海や川、里山など様々な環境に出向き 1/31 時点で 8 回実施しました。今年度末までにあと 3 回実施予定です。

園の活動で得られた生物データを発表する活動

平岡幼稚園の諸活動で得られたさまざまな生物の知見を、より有用な形で残していく事を目的として、必要に応じて学術誌や生物専門誌にて報告しています。今年度は、園児が幼稚園内で発見したヒラタガリカメムシの報告をしました（神奈川県で初記録となったカメムシです）。

【文献情報】

堀田佳之介・伊藤舞音, 2025. 神奈川県平塚市でヒラタガリカメムシを採集. 神奈川虫報, (216): 76.

普及広報活動

平岡幼稚園で行っている活動を市民の皆さまに広く知っていただけるように、各種コンクールへの参加などに参加しています。

『全国学校・園庭ビオトープコンクール 2025』（主催：日本生態系協会）
優秀賞...東京国立博物館にてポスター発表をおこないました

『さがみ自然フォーラム』（主催：神奈川県自然保護協会・厚木市）
令和 8 年 2 月 12 日～16 日（本厚木駅前アミュー厚木 5 階にて）
本園の取り組みの様子を展示しました

2 講評・評価者からのアドバイス

評価者： 学校（園）長 教職員 その他（ ）

次の項目について、気づいたことや受けたアドバイス等を御記入ください。

P 計画 役割分担やメニューの 決定等について	共通メニュー（以下、「共通」）も、独自メニュー（以下、「独自」）も、内容にかかわらず、全教職員で話し合い、年間の計画を立てるようにした。
D 実施 取組内容や取組方法について、 全員で協力しているか	「共通」は、園生活に定着し、全員が協力しながら高い意識を持って取り組んでいる。「独自」は、みんなが自然を楽しむことを共通目標にして取り組む。
C 記録・確認 取組状況を把握し、 確認をしているか	教職員館で情報共有ができるように日々の出来事を職員会議で個々に発表するようにした。
A 見直しの反映 昨年度の見直し結果が今年度の 取組に活かされているか	常に反省を出し合い、次年度の事業計画に生かせる仕組み作りを目指す。

その他	「独自」は、園児や卒園児とその家族・教職員・地域の人たち、みんなで一緒に楽しんで活動を行えるように工夫している。
-----	--

3 1年間を振り返っての感想 児童、生徒、園児に感想を聞き取りの上、御記入ください。

【省資源、省エネ、ごみの減量化】

もったいないことはしないができた / 電気や水を大切に使えた / ペットボトルキャップを集めるのが楽しかった。

【独自メニュー（ビオトープなど）】

色々な生きものを捕まえたり、草花を摘んだりしたのが楽しかった / ツリーハウスや秘密基地でごっこあそびをしたのが楽しかった。

4 来年度に向けて（見直し結果）

- ・令和8年度も引き続き、みんなで“もったいない”を見つける活動を行いたい。
- ・地域の自然の魅力をたくさん感じられるような自然体験活動を行っていきいたい。
- ・園児らの生きものの発見記録を集めて、地域の自然情報の集積を行っていきいたい。